



# 故野田口傳さんに 勲六等單光旭日章



野田口 傳さん  
(旭日区)

政府は五月二十七日に死去した、野田口傳元村議会議員(七七旭日区)に勲六等單光旭日章を贈りました。伝達式は、八月十日、役場で行われ三男の野田口由彦さんが伝達式に臨みました。

野田口さんは昭和四十六年に村議会議員に初当選し、平成七年四月までの間に通算五期二十二年間村議会議員として活躍。平成三年五月から平成七年四月までの四年間村議会副議長を務め、議会の円滑な運営と三陸縦貫鉄道久慈線久慈・普代間の開通、普代ダムの建設(総合運動公園、医科・歯科診療所、特別養護老人ホームなどの建設に尽力。産業の振興、教育文化の充実などに力を注いできました。

また、野田口さんは、昭和四十七年七月から昭和五十九年七月までの間に通算四期十二年間村農業委員会委員として活躍。

八月一日、普代第二トンネル(トンネル延長三三三二メートル)掘削開始に先立ち、安全祈願祭が行われました。

安全祈願祭には、発注者である国土交通省東北地方整備局三陸国道工事事務所、古村利定所長、村からは深渡宏村長など工事関係者を含めた五十三人が参加、工事の無事を祈りました。

普代第二トンネルは、平成十四年三月末に完成予定です。



トンネル工事の安全を祈願する熊谷儀一宮司(鳥居)

その後、普代第一トンネル(トンネル延長一一八二メートル)の掘削作業が始まります。



叙勲の伝達を受ける野田口由彦さん(右)



**普代村に感謝状**

八月三十日付で、岩手行政評価事務所小田映治所長から、普代村に感謝状が贈られました。

総務省行政相談業務に積極的協力し、住民行政の信頼確保に貢献したことによるものです。

**生活支援ハウスの愛称が「やまびこハウス」に決定しました**

生活支援ハウス(野崎貞信所長・社会福祉法人普代福祉施設長)は、病弱などのため、一人暮らしや、夫婦だけの生活に不安のある高齢者が自炊しながら、安心して明るい生活を送れるよう支援する施設ですが、親しみあえるすてきなハウスにするため、広報「ふだい」七月号で愛称を募集しました。

その結果、十四通の応募があり、藤嶋悠子さん(一〇・緑区)が見事優秀賞の栄冠に輝きました。おめでとございます。



深渡村長から賞を受ける藤嶋さん

生活支援ハウスは今後、「やまびこハウス」の愛称で親しまれることとなります。入賞、愛称など次のとおりです。

優秀賞:「やまびこハウス」  
藤嶋悠子(緑区)

佳作:「みるみるハウス」  
米田昭子(白井市)  
「朋友館」  
馬渡優子(中央区)

「敬称略」